

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2009-255599(P2009-255599A)

【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2009-187716(P2009-187716)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】流体噴射装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、流体噴射装置に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体を噴射する噴射口が形成された噴射面を有する噴射ヘッドと、

前記噴射面と所定のギャップを介して対向するように配置され、前記噴射口から噴射された前記流体が供給される検出部を有し、前記噴射面と前記検出部との間に電界を与えて、前記噴射口から前記検出部に前記流体が移動するときの静電誘導に基づく電圧値の時間的変化を検出信号として出力する検出装置と、

前記噴射ヘッドの噴射口より前記流体を排出させるメンテナンス処理を実行可能で、前記噴射口より排出する前記流体の排出量が互いに異なる複数のモードを備えたメンテナンス装置と、

粘度が増大する前の流体に基づいて前記検出装置から出力される基準信号の電圧値の極大値と、前記検出信号の電圧値の極大値との差に基づいて前記流体の粘度に関する粘度情報を取得し、前記粘度情報に基づいて、前記複数のモードから特定のモードを選択し、該選択したモードで前記メンテナンス装置を制御する制御装置と、を備えた流体噴射装置。